認定NPO法人

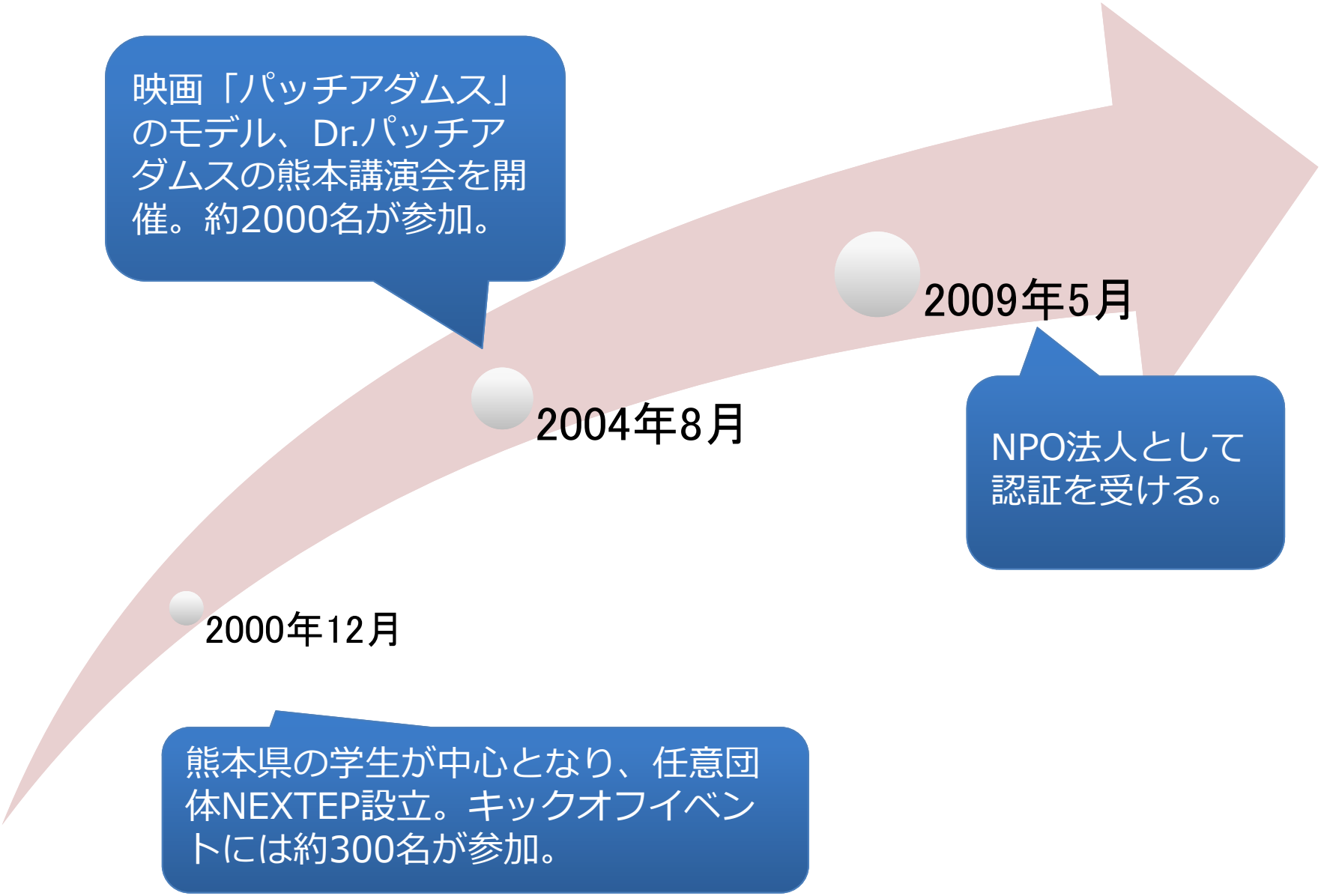
NEXTEP

多くの出会いが自分を磨き、次の一歩の
きっかけとなる

パッチアダムス　九州講演会

来場者約2000人。
笑いやユーモアが人の心を癒す。
夢の実現に向かう力となる。

NEXTEP法人化まで



事業指針

こどもたちの笑顔が未来をつくる

認定NPO法人
NEXTEP

実施事業

1

不登校サポート

2

小児在宅支援

3

講演会交流会

＋

学生チーム

県内初の「認定NPO」

税制優遇、寄付に控除も

不登校、障害児ら支援　NEXTEP(合志市)

障害児や不登校の児童らを支援するNPO法人NEXTEP（ネクステップ＝合志市、島津智之理事長）が8日、活動支援の寄付を受けやすくなる認定NPO法人となった。2001年10月に制度が導入されて以降、県内第1号の認定で、メンバーは「活動の拡大につなげたい」と期待を込めた。

障害児の外出支援の一環で、北海道に出掛けて、森林を散策する家族と島津智之理事長（中央後方）＝2013年9月、北海道滝川市（NEXTEP提供）

認定によって、NPO法人は税制上の優遇措置を受けられるほか、寄付した人も住民税と所得税で一定額が控除される。

NEXTEPは2000年、任意団体として設立。09年にNPO法人となり、自宅で生活する障害児の介護支援や外出のサポート、不登校の児童・生徒に有機農業を体験してもらう活動に取り組んでいる。メンバーは、小児科医やソーシャルワーカーら37人。

認定証の授与が8日、県庁であり、谷崎淳一県環境生活部長が「トップランナーとして県内NPOの範となってほしい」と激励。受け取った佐々木大河副理事長(32)は「支援の輪が広がるステップになる。活動をもっと発信していきたい」と語った。

県によると、認定制度の所管は12年4月、国税庁から都道府県と政令指定都市に変わった。1月末現在、全国で認定されたのは469団体。県内では、ほかに1法人が認定を目指しているという。

認定には、適正な情報公開や運営管理といった基準への適合が求められる。▽収入に占める寄付金の割合が20％以上▽3千円以上の寄付者が年平均100人以上―など3項目のいずれかを満たす必要もある。

（潮崎知博）

認定NPO法人NEXTEP

▼所在地：熊本県合志市

▼理事長：島津　智之

▼役員：　理事 ５名　監事 １名

▼スタッフ　６５名
（有給25名 社会人21名 学生19名）
※看護師・ヘルパー・ＰＴ・事務

▼目的

地域の人々と共に、医療・福祉・教育等の諸問題について、世代や職種を超えた学び・交流の場創りを通して、問題点の解決のために必要な事業を考え、実施していくことで、笑顔あふれる地域社会を創りだすことを目的とする。

▼事業内容

ステップ部門
小児在宅支援事業

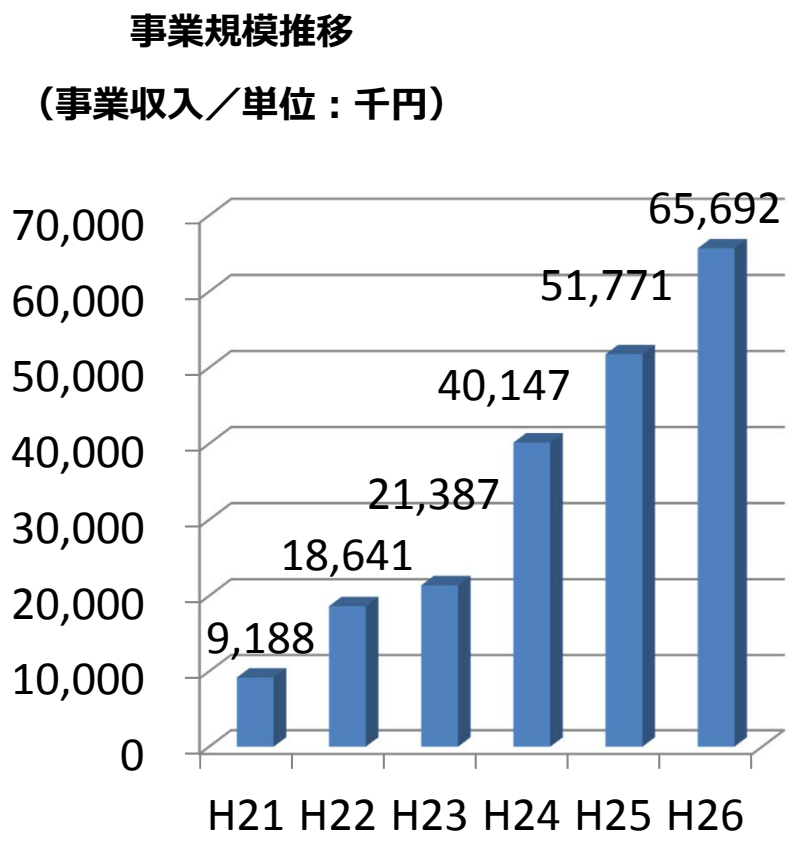
フォーラム部門
講演会・交流会

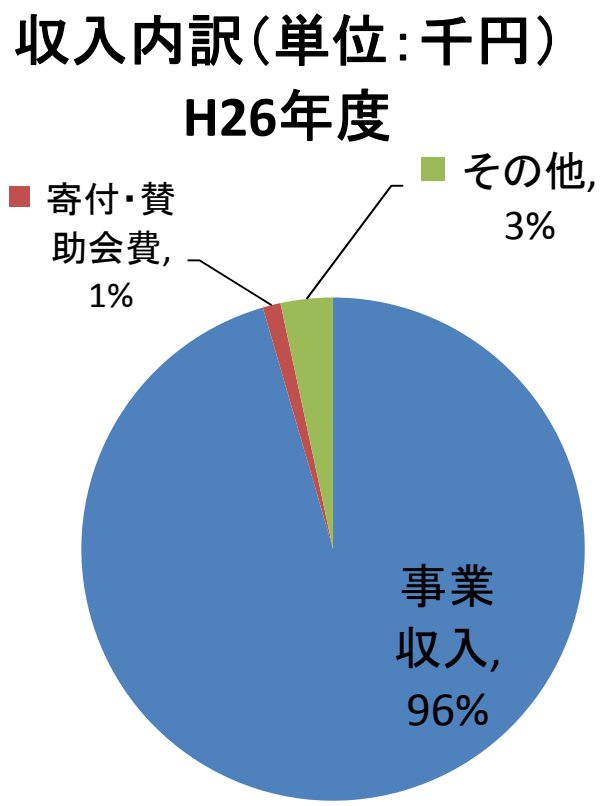
フィールド部門
不登校サポート事業

学生チーム
ドリカムキッズ

▼支援者
①賛助・寄付会員　100名
②広告協賛各社　18社
※支援者リスト　300件
（H26年度実績）

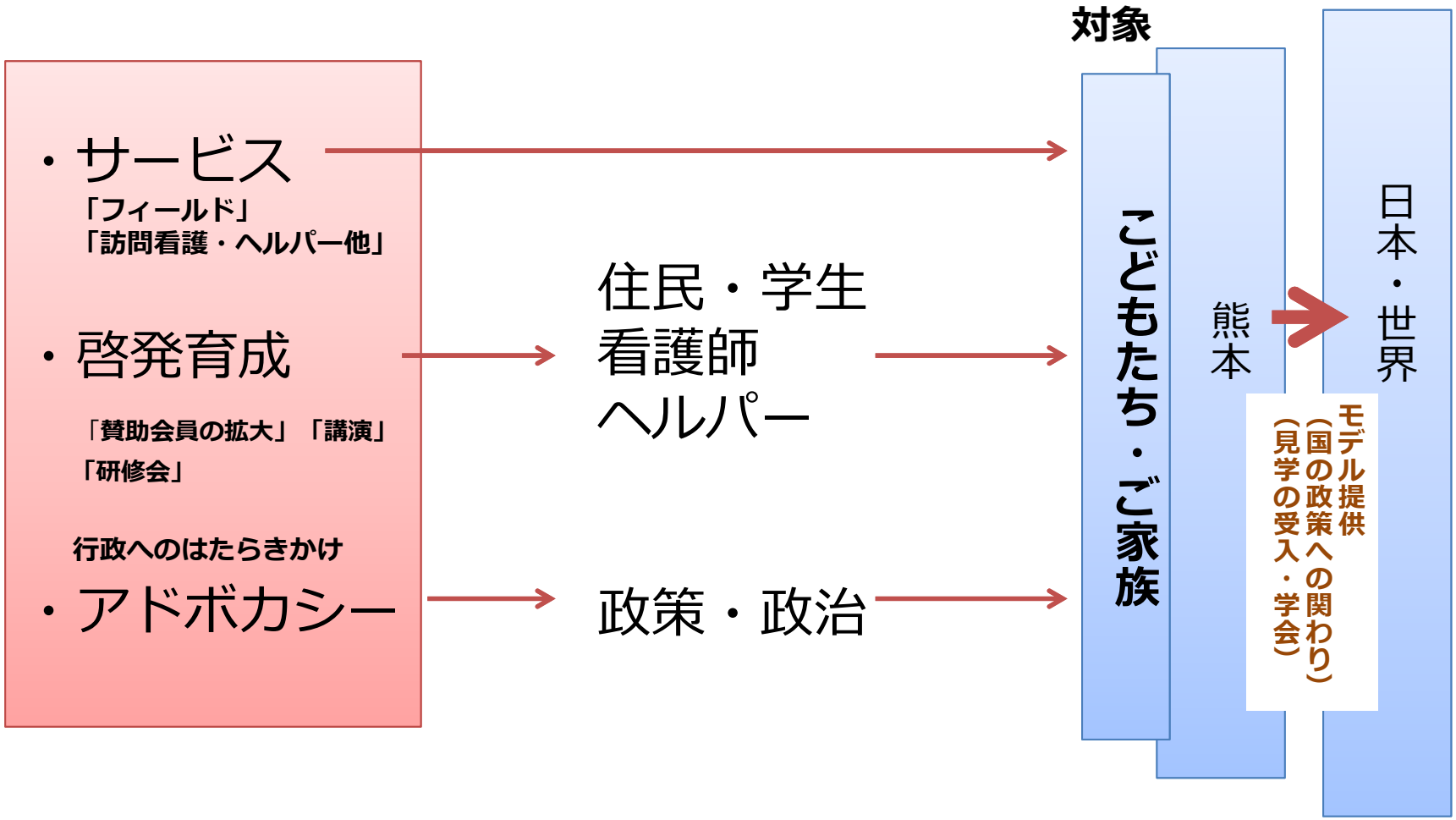
事業規模等


事業規模推移
（事業収入／単位：千円）
70,000
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0
9,188
18,641
21,387
40,147
51,771
65,692
H21 H22 H23 H24 H25 H26


収入内訳（単位：千円）
H26年度
寄付・賛助会費, 1%
その他, 3%
事業収入, 96%

事業戦略

多角的に働きかける



今後について

事業	テーマ	今後
小児在宅支援事業	障がいや病気があってもおうちであたりまえの暮らしができる地域を･･･	包括サービスを提供する拠点モデルへ
不登校サポート事業	こどもたちに自然体験の場づくり。	息長く成長に寄り添う関わりを続ける。
異業種交流会・講演会事業	多くの人とつながりNEXTEPの仲間づくり、支援の輪づくり。	継続的に実施。ネットワークの広がりを目指す。

TOOTH FAIRY
トゥース フェアリー